

◆ ホー ホゲ ホゲ 恋のささやき まだ下手ね

(P・N 竹子 デラックス)

◆ 流行語 やたら飛び出す 春の宴

◆ 告白を 酒がじやまする 花見席 (P・N 次男坊)

◆ ぼんぼりに 背を押す恋の 花吹雪

◆ また春に 桜の下で いざ逢わむ (P・N すふいんくす)

◆ ご縁とは 両想いで 結ばれる (P・N なまめ)

◆ 初キッス 忘れもしない 春の宵 (P・N 紫の局)

◆ 縁あって あなたのイビキ 聞いている
(P・N やくら子)

◆ 縁結び ツアーに参加 数十回 (P・N ゆうな)

◆ 縁あって きみまろの上をゆく あれから50年
(P・N こうちゃん)

◆ 縁あって かわはらの春 宮城で観る
(P・N こうちゃん)

◆ ひらひらと 私の恋が 風に舞う
(P・N 働き蜂 ちえちゃん)

◆ 出会う度 ご縁の重なる 新年度 (P・N りーちゃん)

◆ 花吹雪 出した手が触る 出会いかな (P・N ほるへ)

◆ 凍えんだ 冬から芽吹く 春の恋

◆ 春らしく ホップステップ 駆ける恋 (P・N PON5)

◆ 桜咲く 私の恋も 満開だ

◆ 恋をして さなぎの娘 蝶となり

◆ 浮かれてる 春の陽気と 恋心 (P・N 花月)

◆ 桜咲く 私の恋も 満開だ

◆ 恋をして さなぎの娘 蝶となり

◆ 春よ来い 素直な恋が 咲かす花 (P・N あーさま)

◆ ご縁なら 添い遂げます 嫁ぐ朝 (P・N 小石丸)

◆ 頬染めて 鼓動も騒ぐ 春の恋 (P・N 恋愛体質)

◆ 愛と恋 芽生え始める 花見かな (P・N 大和の雨蛙)

◆ ぼくの恋 邪魔してくれる 猫の恋 (P・N やじろベー)

◆ お花見の 宴で芽生えた 縁もあり (P・N 臨海和笑)

◆ ぼくの恋 春一番で 愛送る (P・N はるる)

◆ 目が合うと 縁を感じる マスク越し (P・N るなはん)

◆ お兄ちゃん 御縁あっての お父さん

◆ 帯・たすき ご縁で結ぶ 赤い糸 (P・N 銀兄ちゃん)

◆ 一目惚れ きみとの縁を 見つけた日

◆ 春うらら 並んで帰る 恋の道 (P・N きびしんぼう)

◆ 一日に 三度ばったり 会うご縁 (P・N ゆずママ)

◆ おちよぼ口 今は吸えない 梅の口 (P・N ぶちの白馬)

◆ 背伸びして あるよう願う このご縁

◆ 君と春 思いて温む 陽だまりの (P・N ちよろ)

◆ 桜見る 君見る私に 舞う桜 (P・N ゆう)

◆ 手をつなぎ 君と行きたい 土筆取り

◆ 別れても すぐ逢いたいね 春の夜 (P・N たかさま)

◆ 入念な 化粧ご縁の せいかしら (P・N 小星)

◆ 桜咲く 私の恋も 満開だ

◆ 恋をして さなぎの娘 蝶となり

◆ 浮かれてる 春の陽気と 恋心 (P・N 花月)

◆ 桜咲く 私の恋も 満開だ

◆ 恋をして さなぎの娘 蝶となり

◆ 春よ来い 素直な恋が 咲かす花 (P・N あーさま)

◆ ご縁なら 添い遂げます 嫁ぐ朝 (P・N 小石丸)

◆ 頬染めて 鼓動も騒ぐ 春の恋 (P・N 恋愛体質)

◆ 愛と恋 芽生え始める 花見かな (P・N 大和の雨蛙)

◆ ぼくの恋 邪魔してくれる 猫の恋 (P・N やじろベー)

◆ お花見の 宴で芽生えた 縁もあり (P・N 臨海和笑)

◆ ぼくの恋 春一番で 愛送る (P・N はるる)

◆ 君と僕 不思議な御縁 苦笑い (P・N ワタミツ)

◆ おそろいの 花粉症ぼく 春うらら (P・N いえさんぽ)

◆ ご縁では 離れるかもと 糊を手に

◆ 手を合わせ お願いするは よろず縁

(P・N monikatona ra)

◆ 好きな子と 桜のトンネル くぐり抜け

◆ 花見席 初恋相手と 対面し (P・N おーかゆかり)

◆ 縁結び へその緒からも つながって

(P・N ピンクももグリーナ)

◆ 爺と婆 御縁あつての 長き旅

◆ 縁あつて スローテンポで ガタゴトと (埼玉県)

◆ 川柳が 人との縁を 結んでる

◆ 人々とは 何かの縁で 結ばれる (鳥取市)

◆ 忘れるな 御縁あつての 人の道

◆ 笑い声 立てて御縁を ふくらます (鳥取県)

◆ 春先は 恋する気持ち おこるもの (P・N 杉元一郎)

◆ こつそりと 恋もさがして 入社式

◆ 旅の空 未練を流す 流し雛 (P・N 稲葉小宇天)

◆ これもまた 何かのご縁 花粉症

◆ さあ 告白突然くしゃみ 春の恋 (P・N 清少納言)

◆ ご縁あり 野鳥の土産の 木が育つ

◆ 年賀状 だけのご縁も 五十年 (P・N 西井茜雲)

◆ 百均ど 特売で遇う 嫌な縁 (P・N のんのん)

◆ 縁あつて 新緑の候に 式あげる

◆ 細くとも 縁をたどって 今があり (P・N のんのん)

◆ 男見る 目がありすぎて 縁遠い (P・N 長男ヒロタン)

◆ 縁の糸 手繰り寄せると 彼でした (P・N かすみ草)

◆ ハンカチを 落とした祖母の 恋の縁

(P・N バンバン爺)

◆ 春雨や 相合傘に 桜咲き (P・N みことつち)

◆ 良縁も 逆縁も皆 已れ次第

◆ 気分だけ 春めき娘 風邪をひき (P・N 木之影)

◆ ラブレター 出せず破った 卒業日

◆ 告白の 返事は 「ごめん」 春の恋

(P・N 厚顔の美老年)

◆ はじめての 君の弁当 縁結び

◆ 今一步 踏み出せなくて 桜闇 (P・N 柳 緑子)

◆ 恋してる? サクラ吹雪で 祝福ね!

(P・N ラツシユアワー)

◆ 花粉症 潤む瞳に ひとめぼれ

◆ 綺麗だと 言えずに褒める 桜の木 (P・N 文福)

◆ 恋をして パティシエになる 春工房

(P・N のろまのろまん)

◆ ときめいた 愛をかたどる 永遠(とわ)の縁

(P・N チュン子すずめ)

◆ 念押して 2人の縁を 願(がん)掛ける

(P・N 青メダカ)

◆ ご縁あり 木の上に 木の上に

(P・N 木の上)

◆ おはなしの木 木の上に 木の上に

(P・N おはなしの木)

◆ おはなしの木 木の上に 木の上に

(P・N おはなしの木)

◆ 旅立ちの 背にひとひら さくら舞う

◆ また来るよ 絆強めて 春が行く (P・Nやまちゃん)

◆ 春の香に 恋する川柳 桜咲く

◆ 見つめ合い 桜の下で 肩を抱く (P・Nれんこ)

◆ 君と会い 僕の心に 春が来た (P・Nニケさん)

◆ 今どきは 神よりメール 縁結び (P・N完熟きのこ)

◆ いい旅が ご縁を連れて やってきた

◆ 御縁樹に 許しを乞いて キスしよう (P・Nひかる)

◆ 雨上がり 仲良しわらび によきによきと

◆ 夜桜を 指絡ませて 夢心地 (P・N土呂小町)

◆ 一期一会の 縁の雨 (P・N順也)

◆ 縁結ぶ 神もうらやむ サクランボ (P・Nみやんくん)

◆ 雨上がり 仲良しわらび によきによきと

◆ 縁結ぶ 伸びるやうに サクラ (P・Nみやんくん)

◆ 夜桜を 指絡ませて 夢心地 (P・N土呂小町)

◆ 五円から 消費増税 八円へ (P・Nココアパン)

◆ 一日に 二度違う縁が 永遠に (P・N宗鉄)

◆ 山道を 滑落が縁に 今の妻 (P・N角 奈緒也)

◆ また逢った まぐれじゃないね 御縁だね

◆ 同じ物 掴み苦笑い 縁結ぶ (P・N豆助)

◆ 桜エビ パスタの味は スイートメモリー (P・N瑠璃)

◆ 若者よ 縁はいなもの 恋のもの (P・Nよつは)

◆ 御縁樹に 誓った愛が 実る春 (P・N京のみっちゃん)

◆ マウスとも ご縁のできた 割烹着

◆ おもてなし ご縁結んだ 総仕上げ (P・N和三朗)

◆ 藤の花 摺れる花弁と 恋心 (P・Nまるちゃん)

◆ 豊かな春 おまかせ (P・Nせんちゃん)

◆ 豊かな春 おまかせ (P・Nせんちゃん)

◆ 豊かな春 おまかせ (P・Nせんちゃん)

◆ 好みより この身が弾み のぞむ縁 (P・N白梅)

◆ 『今年こそ!』 貼りを込めて 投げた円

◆ 五円玉 すり抜けてゆく 赤い糸 (P・N@やす)

◆ 初キッス ふさぐマスクの 花粉来る

◆ 春一番 いい恋届く 予感する (P・Nかきくけ子)

◆ 春を待つ 縁は待たずに 手繰り寄せ

◆ 五円から 消費増税 八円へ (P・Nココアパン)

◆ 一日に 二度違う縁が 永遠に (P・N宗鉄)

◆ 五円から 消費増税 八円へ (P・Nココアパン)

◆ 一日に 二度違う縁が 永遠に (P・N宗鉄)

◆ 五円から 消費増税 八円へ (P・Nココアパン)

◆ 一日に 二度違う縁が 永遠に (P・N宗鉄)

◆ 五円から 消費増税 八円へ (P・Nココアパン)

◆ 一日に 二度違う縁が 永遠に (P・N宗鉄)

◆ 五円から 消費増税 八円へ (P・Nココアパン)

◆ 一日に 二度違う縁が 永遠に (P・N宗鉄)

◆ 五円から 消費増税 八円へ (P・Nココアパン)

◆ 一日に 二度違う縁が 永遠に (P・N宗鉄)

◆ 五円から 消費増税 八円へ (P・Nココアパン)

◆ 一日に 二度違う縁が 永遠に (P・N宗鉄)

◆ 五円から 消費増税 八円へ (P・Nココアパン)

◆ 一日に 二度違う縁が 永遠に (P・N宗鉄)

◆ 五円から 消費増税 八円へ (P・Nココアパン)

◆ 一日に 二度違う縁が 永遠に (P・N宗鉄)

◆ 五円から 消費増税 八円へ (P・Nココアパン)

◆ 一日に 二度違う縁が 永遠に (P・N宗鉄)

◆ 五円から 消費増税 八円へ (P・Nココアパン)

◆ 一日に 二度違う縁が 永遠に (P・N宗鉄)

◆ 五円から 消費増税 八円へ (P・Nココアパン)

◆ 一日に 二度違う縁が 永遠に (P・N宗鉄)

◆ 五円から 消費増税 八円へ (P・Nココアパン)

◆ 御縁（五円）あり 50年（五十）後 今御満悦（五万）

(P・N花キャベツ)

◆ 一目見て ご縁つながり 恋語る

◆ 花吹雪 散らぬ二人の 春の恋 (P・N尼の政爺)

◆ 卒業日 桜と僕は 共に散る

◆ 春の駅 新入生の キミと逢う (P・N源祖邦男)

◆ 半世紀 ご縁で続く 夫婦仲 (P・Nひーらー)

◆ 幼き恋 つくしの様に 背伸びして (P・Nだー)

◆ いにしえの 縁を夫婦の 背（せな）にみる

(P・Nはらっぱ)

◆ 縁あって 添い続けてる 無期の刑

◆ 愚痴聞いて 其の度詫びて 続く縁 (P・Nほろ酔い)

◆ ご縁には 八円よりも 五円玉 (P・N歌仙草)

◆ とりあえず ご縁を下さい 殿方ど (P・Nにいたろう)

◆ あの人と ご縁がありそ いつの日か

◆ 桜にも 贠けぬおめかし 今日こそは

(P・Nナツツヒピュア)

◆ まだ会えぬ 気持ちを桜に 話しかけ

(P・Nマイケーハイ)

◆ ブロンドの 髪に挿したい スイートピー

(P・N千葉カエル)

◆ 春だから リップも ピンク色にして

◆ 君に会う ためのすべてが 縁結び (P・Nかぐや姫)

◆ 小指立て 手繻り寄せたい 縁の糸 (P・N鬼小町)

◆ 春風に 舞つてる気がする キュー・ピット
(P・N木立慈雨)

◆ 隣席が ご縁で今は 恋の道
カヤヒ

◆ つり銭に ご縁託した 五円玉 (P・N夢追い人)

◆ 縁祈り 有名神社へ 娘 (ニ) は参る
(P・Nクン太のママ)

◆ 夏祭り ちょっとおめかし 縁探し

◆ 一瞬の 彼女との縁 一目惚れ (P・Nヒデジイ)

◆ 産直の ご縁で婚活 道の駅 (P・N慎ちゃん)

◆ 手繻り寄せ ご縁で結ぶ 赤い糸 (P・Nジョイン)

◆ 春の陽に よく似た君の 背に抱かれ

(P・N木下美樹枝)

◆ 赤い糸 縁は切れずに 真珠婚

◆ 「かわはら」で 大国主が 結ぶ縁 (P・Nヒメ父)

◆ 円安の アベノミクスに 懸ける縁

(P・Nみつかいかき)

◆ 近頃は 見合いや縁故 望み薄

◆ 縁あって 白兎の海で 知った恋 (P・Nナフタリン)

(P・Nねこママ)

◆ この街で 縁が織りなす 喜怒哀楽 (P・Nささゆり)

◆ ふるさとの 山菜嬉し 道の駅 (P・Nカトレア)

◆ 冒険が 縁を取り持つ 夫婦仲

◆ 性格が 合わない縁で 不思議だね (P・Nひねた猫)

◆ 縁あれば 訪ねてみたい 道の駅 (P・Nあすなろ)

◆ 「おかげり」と 女将に言われ これも縁

(P・Nあべっち)

◆ えんと聞き レート浮かべる 情けなさ (P・N策々)

◆ 初期担が 縁のイタズラ 校長だ (P・Nみな)

◆ 小細工は 不思議な縁を 担う恋 (P・N無重力)

◆ 元彼と 桜の下で 結ぶ縁 (P・N無重力)

◆ 高度成長と ご縁のジャンボ機 姿消す

◆ 縁遠い 二人居酒屋で 急接近 (P・Nニュー写楽)

◆ 縁あつて 結ばれ感謝の 五十年 (P・N安眠)

◆ 縁切れず もう五十年に 桜鯛 (P・Nぶちのり)

◆ 菜の花で 始まつた恋 持ちこたえ

◆ ご縁待つ 見合い写真は √サイン (P・Nかたおもい)

◆ 縁あらば 君に贈った 恋うきぎ (P・Nみる)

◆ 卒業の 君に贈った 恋うきぎ (P・Nみる)

◆ 緑側で 貴方と笑い 20年

◆ 緑あらば も一度会いたい 人がいる (P・Nあいらむ)

◆ 恋をして 愛しい気持ち 芽生えだす (P・Nこめろん)

◆ 懐しい 縁しの駅に 子と降りる

◆ 道の駅 春には春の 恋が咲く (P・N大井一水)

◆ 久恋の 人に出会つた 春の夢 (大阪府)

◆ 縁あって 夫婦になれて 子が産まれ

◆ お百度も ご縁に勝る ものはなし

◆ 春風に 揺られ想うは 君のこと (P・Nりょうパパ)

◆ 怪我の縁 淡きおもいのもえあがり (P・Nきりこ)

◆ かわはらへ ひよんなご縁 ふみおり

◆ 縁結び 御守り集め パワー貯め (P・Nいわき)

◆ 春の雨 君との距離が 近くなる (P・N中谷麗夢)

◆ 春一番 風ではなくて 恋でした (P・N船岡五郎)

◆ ご縁待つ 見合い写真は √サイン (P・Nかたおもい)

◆ 菜の花で 始まつた恋 持ちこたえ

◆ ご縁切れず もう五十年に 桜鯛 (P・Nぶちのり)

◆ ご縁待つ 見合い写真は √サイン (P・Nかたおもい)

◆ ご縁切れず もう五十年に 桜鯛 (P・Nぶちのり)

◆ 緑あらば も一度会いたい 人がいる (P・Nあいらむ)

◆ 緑側で 貴方と笑い 20年

◆ 緑あらば も一度会いたい 人がいる (P・Nあいらむ)

◆ 恋をして 愛しい気持ち 芽生えだす (P・Nこめろん)

◆ 汗をかいて 愛しい気持ち 芽生えだす (P・Nこめろん)

◆ おみくじに 頼って手縫る 縁の端

◆ 因縁も 柵にする 恋ごころ (P・Nとりびあの)

◆ ジンクスは 守つて縁を 手縫り寄せ (P・N紫よん)

◆ 一目惚れ 必死に探す 縁の端

◆ 増税で 一円玉との 縁(ゆかり)愛で (P・Nコイノミクス)

◆ 文通が メールに代わる 古希の春

◆ 送迎会 ウソでもうれしい 後輩の涙 (横浜市)

◆ 好きな子の ための背伸びか つくしんぼ

◆ 貴方へと 縁を編みこみ ゴールイン (P・Nヒロ)

◆ 縁切りと 縁結びとで 神多忙 (P・N素人)

◆ 白無垢に 肩に桜が 春の縁 (P・Nミール)

◆ 本が縁 図書が咲かせる 恋の花

◆ 出雲へと 縁を求めて 春の旅 (P・Nよし得)

◆ 108円 縁もホロロの お賽銭

◆ 犬縁の ポチが取り持つ 散歩道 (P・Nみど留)

◆ 縁つかみ そろりと寄ると 遠ざかる

◆ 縁あれど 恋に無縁の 縁ばかり (P・Nごうちゃん)

◆ 一人旅 行く先々で 会った縁

◆ バスの席 隣り合わせで 出来た縁 (P・N颯爽)

◆ 春が来て 恋する娘 しょげる父

◆ 惚れ直す さくら色した 妻の顔 (P・N稻岡俊一)

◆ いい女 キツネと縁が あるのかも (兵庫県)

◆ 葉桜を ながめるもよし 友二人 (P・N橘 舞衣)

◆ 桜見て チラリ背高き 君を見る

◆ 情熱で 手繰り引き寄せよ 薄き縁 (P・Nきりり)

◆ ああ春よ 古いものに さようなら (P・N宮脇直子)

◆ ご縁をと 祈り年々 長くなる (愛知県)

◆ 初恋を じっと見守る ご縁樹が

◆ 恋ごころ 伝えて欲しい 御縁樹よ (P・Nりんどう)

◆ 春風よ 桜の下で 並んでた (P・N西 & 東)

◆ きれいだね 桜かんざし 君の髪 (P・Nあかね雲)

◆ イケメンで 適齢なのに 縁がない

◆ 桜の木 見ていた君に 一目ぼれ

◆ 恋をする 勇気もないが 縁もない (P・Nタジラ)

◆ 春にあり 春に別れた これも縁 (P・N相澤竜次)

◆ きれいだね 桜かんざし 君の髪 (P・Nあかね雲)

◆ イケメンで 適齢なのに 縁がない

◆ 乗り合いが 縁で花見の 屋形船 (P・N真昼)

◆ 恋をする 勇気もないが 縁もない (P・Nタジラ)

◆ 縁側の 猫になりたい 陽だまりで (P・N伸子)

◆ 神の説く 隣人愛し 縁切られ

◆ 乗り合いが 縁で花見の 屋形船 (P・N真昼)

◆ (P・Nあくめんぼくない)

◆ この気持ち 相手に届き 縁となる

◆ 乗り合いが 縁で花見の 屋形船 (P・N真昼)

◆ 恋をして 運を引き寄せ 縁とする

◆ 乗り合いが 縁で花見の 屋形船 (P・N真昼)

◆ (P・N南武線の旅人)

◆ 乗り合いが 縁で花見の 屋形船 (P・N真昼)

◆ 五円なら たくさんあるが 御縁なし (P・Nワンマン)

◆ 乗り合いが 縁で花見の 屋形船 (P・N真昼)

◆ 縁遠し 寝ては待てぬが 憂き世かな

◆ 乗り合いが 縁で花見の 屋形船 (P・N真昼)

◆ 今生の あい縁機縁 味なもの (P・Nクイナ)

◆ 乗り合いが 縁で花見の 屋形船 (P・N真昼)

◆ うきうきが 桜が散つても 続く恋 (P・Nこぱんだ)

◆ 乗り合いが 縁で花見の 屋形船 (P・N真昼)

◆ 初恋の 思い出辿る 桜道 (P・Nしめじ飯)

◆ 乗り合いが 縁で花見の 屋形船 (P・N真昼)

◆ 偶然も 努力で必然 恋は故意 (P・N狙うが勝ち)

◆ 乗り合いが 縁で花見の 屋形船 (P・N真昼)

◆ お互いの 指を編みつつ 歩む道 (P・Nみおみお)

◆ 乗り合いが 縁で花見の 屋形船 (P・N真昼)

◆ P.Cより 私を触れと 女房妬く (P・N大和の雨蛙)

◆ 唯想う ただただ想う 君の事 (P・N曲者)

◆ 婆ちゃんの 化粧老いらぐの 恋かしら (P・N小星)

◆ 古希過ぎて いまだに恋が 蘇る (P・Nおおえのたか)

◆ あの人と あいさつ一つで 結ばれる

(P・N翔のんまな)

◆ 片想いの ように切ない 倦怠期 (P・Nマサくんの妻)
この良き日 ふたりの門出 山笑う (P・Nとんちゃん)

◆ 今はただ テレビの君に ときめく日
口渴き 必死に口説く プロポーズ

(P・N朝霞の大三元)

◆ 恋をする 新鮮だよな いつのひも (P・N杉 元一郎)

◆ 古希過ぎて いまだに恋が 蘇る (P・Nおおえのたか)

◆ 恋をする 新鮮だよな いつのひも (P・N杉 元一郎)

◆ 恋をする 新鮮だよな いつのひも (P・N杉 元一郎)

◆ 恋をする 新鮮だよな いつのひも (P・N杉 元一郎)

◆ 淡い恋 ブランコだけが おぼえてる (P・Nつぐみ)

◆ デイケアで 微笑み会わす 九十歳 (P・N根本中堂)

◆ 早世の 友の恋歌 傀ぶまち (P・N西井茜雲)

◆ 遠くから ウインク代わりに 指ハート

(P・N千葉カエル)

◆ 夫には 好きだと云えず 六十年 (P・Nかずちゃん)

◆ 思わずコクっちはまつたぞ どうするヨ

◆ 願つても 叶わぬ恋も あります (P・N M・G)

◆ ままことを してたあの子も 花の嫁 (P・N北城椿貴)

◆ あの人への 髪の寝ぐせを 直せたら

◆ 前の愛 賽銭箱に 投げ込んで (P・Nカエルおばさん)

◆ 会いたいよ 離れていたら よくわかる (P・Nサクラ)

(P・N長男ヒロタン)

◆ 確かめた 2人の愛に 光る頬 (ほほ)

(P・N仁)

◆ 孫愛す 妻の白髪を 撫でてやる (P・N仁)

◆ 相聞に 足りぬ字数は 行間で (P・N四迷亭)

◆ 初恋の 人アルバムに 生きている (P・N高秋浅太)

◆ 頬つたう うれし涙の 恋時雨 (大阪府)

◆ 初恋の 酸っぱい思い出 夏の風 (P・Nたえ姫)

◆ 鯉かしら 水面の君に 恋でしう (P・Nゆうと)

◆ 親切に 鮎遊座を案内 今嫁に (P・N慎ちゃん)

◆ お見合いで 四十五年を 浮気なし

(P・N甲斐性ナシ・T)

◆ ありがたい まだあつたのね 恋心 (P・Nひらめき子)

◆ 路地裏で 猫が恋する 人もする (P・N花キヤベツ)

◆ ほんわかと ほほ笑む2人 ホノとボノ (P・Nお酢)

◆ 恋路にも 欲しい悩みの 道の駅 (P・Nたまちゃん)

◆ 一億の 分母の上に いる二人 (P・Nひかる)

◆ 目を閉じて 交わした温もり いつまでも

(P・Nニケさん)

◆ 年経ても 男は恋の ロマンチスト (P・N一本木)

◆ 今はただ テレビの君に ときめく日
口渴き 必死に口説く プロポーズ

(P・N朝霞の大三元)

◆ 母と妻 四月三日が 誕生日

(P・Nかわすや りゅうさい)

◆ 母君代 義母は君子と 似た名前 (P・N蛙屋 柳斎)

(P・Nスイッチが 入れば戻れぬ 恋の道)

(P・Nシルバーグレー)

◆ キミがいる ご縁に感謝 いつまでも (P・Nワタミツ)

『一言』ストレートに心に響いた作品でした。伝えたい。

◆ 斜面捨て 翁の顔になる 爺や (瀬戸内市)

◆ 幾山河 越えて夫婦の 隠し味

(P・N新緑と桜のコラボ 君と僕 (P・N瑠璃)

◆ 30分 いったい何時まで 待たせるの

(P・N青空太郎)

◆ 恋すると 景色が変わる バラたくさん

(P・N馬鹿だった 恋した相手は 恋だった (P・Nワンマン)

◆ おみくじを 結ぶ手が触れ なれそめに

(P・N遠距離を ものともしない メール恋

◆ おみくじを 結ぶ手が触れ なれそめに

(P・Nおみくじ)



◆ 祖父と祖母 見ると信じる かたい縁

(P・Nあねごちん)

◆ 一言 素敵な祖父母ですが、三人の関係が本当に素敵。

◆ 春いちご 心の傷は すぐ癒える (P・Nぶちの白馬)

『一言』春イチゴの甘さは格別ですね。ニッコリ♥

◆ キミがいる ご縁に感謝 いつまでも (P・Nワタミツ)

『一言』ストレートに心に響いた作品でした。伝えたい。

◆ ファミレスの 二人で摘まむ 春メニュー

(P・Nのろまのろまん)

『一言』ほのぼの♪と幸せそうな二人の姿が浮かびます。

◆ 新緑と 桜のコラボ 君と僕 (P・N瑠璃)

『一言』新緑と桜、そして二人のコントラスト：お見事！

◆ いつまでも 纏い続けて： 縁Dress (P・Nお酢)

『一言』ウエディングドレスよりも素敵な呼び方ですね。

◆ 魅力ない そうじゃないのよ 縁がない (P・N夢子)

『一言』これいい！いい！今度からこれでいきましょう。

◆ ころがって 来た縁トンネル してしまい

(P・Nあすなろ)

◆ さくら追い SL追って 摄るも恋

(P・Nたび好きゴーゴー)

◆ 縁だつて ポイント5倍で 結びたい (P・N紫よん)

『一言』恋は忙しいものです。P・Nもインパクト大◎

◆ 縁だつて ポイント5倍で 結びたい (P・N紫よん)

『一言』分かります♪。3倍でもいいんですけどね(笑)。

◆ 縁結び 神はウチの娘 忘れてる (愛知県)

『一言』なんだ、神様も人間っぽいんだ♪で済むか！？

(P・N宮脇直子 ♥)

『一言』切実な問題ですものね。でもなんか淋しいな…。

(P・N宮脇直子 ♥)

◆ 恋開花 染井吉野に 負けないぞ (P・Nこなき)

◆ 横顔に 摆れる桜と 恋心 (P・Nいえさんぽ)

◆ 良縁が 結ぶ人の輪 地域の和 (P・Nミニロック)

◆ 恋開花 染井吉野に 負けないぞ (P・Nこなき)

なお、紙面のスペース上、多数にわたるご応募の方につき

ましては、掲載を二句までとさせて頂いております。悪しからずご了承ください。また、作品にペンネーム(P・N)の付してないものについては、宛先のみご紹介させて

頂いています。

また、抽選の結果発表については、発送をもって代えさせて頂きます。次回の【夏】「あなたと鮎む(歩む)川柳」編は六月に募集しますので、お見逃しなく☆

by. KISAKI HIMEKO
(郷土神話観光
コーディネーター
★)

この春の終わりに、道の駅では、かねてより念願だったブライダルイベントをようやく開催する事ができます。河原町内の八上姫を祀る賣沼神社で、3人の地元在住の花嫁モデルの縁結び御祈祷と地元の写真館さんによる写真撮影会が行われます。その後は、道の駅清流茶屋かわはらの情報コーナーで、美容のスペシャリストたちによる素敵なブライダルヘアショーが開催されます。特に女性に嬉しい美容ドリンクとスイーツの振る舞いがあるほか、スペシャルゲストによる華やぎのブライダルコンサートでご来場のみなさんをおもてなしします。開催まで、残すところあとわずかです。ご一緒に幸運をお祈り頂ければ幸いです^_^;♥

